

Rotary 関ロータークラブ

2020～2021年度国際ロータリーテーマ

ロータリーは機会の扉を開く Rotary Opens Opportunities

RI会長：ホルガー・クナーク

関ロータークラブ会長テーマ

志～奉仕の理想を高さ志で実践しよう

55代会長：木村 聡

「関の刃物」は700余年の歴史を誇り、「折れず、曲がらず、良く切れる」関鍛冶の伝統を受け継いでいます。

会長 木村 聡
副会長 加藤 照彦
幹事 酒向 徳享

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT



本日のプログラム 第2580回例会 2020年9月15日(火)

「早朝例会・清掃奉仕」

場所：関市文化会館西隣関川周辺



前例会の記録・第2579回 9月8日(火)12:30

「東海北陸道グループ GTM の報告」

奥村敏教会員

◆開会点鐘

◆会長挨拶 木村聡



本日は一昨日の日曜日に行われた GTM の報告を奥村君にいただきました。

初めての Zoom による GTM で、設営側はもちろんのこと参加者側もなかなか慣れませんでした。内容としては大変良いお話を伺う事が出

来しました。

さて、「長く続ける事」というテーマについて。「継続は力なり」と言うように、長く続けること、長く続けられる事は、良い事だと思います。さて企業でそれを見た場合、創業 100 年を超える企業(100 年企業)は日本国内に 33,076 社あり、世界全体の 41.3% を占めているそうです。更に 200 年企業となると 1,340 社 (65.0%) となり、日本企業には長寿企業が突出して多いことが判ります。100 年企業の業種別比率を見ると、製造業、小売業、卸業は他国に比べて多く、一方で建設業、サービス業は少ない。売り上げ規模では、1 億円未満の企業が 41.7%、1 億～10 億円未満が 39.1% です。

個別の企業に目を移すと、世界最古の企業が日本にあることは良く知られています。(株)金剛組という会社で、578 年聖徳太子が大阪に四天王寺を建立する為、百濟より招聘した 3 人の宮大工のうちの一人金剛重光氏により創業され、紆余曲折を経ながらも現在に至ります。

上場企業の長寿企業としては 1. 松井建設(株) 1586 年 土木建築工事 2. 住友金属鉱山(株) 1590 年 非鉄金属資源開発・精錬 3. 養命酒製造(株) 1602 年 薬用酒製造などが挙げられます。

ではこの話の重要な部分として、何故日本には長寿企業が多いのでしょうか？これには様々な意見があるとは思いますが、ある専門家の見解を一つの参考として引用させていただきます。

「日本という国は、地理・歴史的に他国からの影響が少なく、「顧客第一」の企業文化、生涯一つの

会社に勤めることを美德とする国民性といった、他国と比べて企業が長続きしやすい社会を築いてきたこと。その中でも時代の変化を生き抜く企業には、「人々の生活に関わる分野」に多く、何よりも不可欠な点は「事業の目的や企業のビジョンが明確である」こと、そして「中心となる軸をぶらさず、かつ、常に革新を心掛ける」ことです。グローバル化が進み、多くの外国企業が日本に進出し、反対に世界へと市場を拡大する日本企業も増え続けています。さらにこれからは、テクノロジーが急速に進歩し、今まで以上に変化の激しい時代になっていくのは避けようのない事実です。長続きする企業やビジネスのあり方も変わっていくでしょう。グローバル化の中で、どこまで日本の伝統と自らの軸をぶらさず、同時に、生き残りに必要な改革のタイミングを逃さず、柔軟に対応できるか。先を見通すのが難しい時代だからこそ、「こだわり」と「柔軟さ」のバランスが求められるのではないのでしょうか。」

当社は昭和 18 年創業ですので、今年で創業 77 年目となります。100 年企業までには、あと 23 年という時間を必要とするので、次世代での到達になるかと思えます。その日を活力のある企業として迎えられるよう、不易流行のポイントを見極めながら、日々精進して行きたいと思えます。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員 秋柄達也

会員 50 名中 出席 25 名 出席率 50.00%

◎ニコボックス委員会 委員 栗倉晋吾

会長・副会長・幹事…日曜日、GTM の参加ありがとうございました。初めての Zoom を利用した配信による GTM でしたが、大成功だったのではないのでしょうか。その GTM を今日は奥村敏教さんに報告させていただきます。どうかよろしくお願ひします。

林隆一、長尾一郎、土屋佳久、林昇、堀部哲夫、古田貴巳、三輪雄彦、西田泰幸、山田一成、栗倉晋吾、秋柄達也会員の皆さん…奥村さん GTM の報告よろしくお願ひします。きっと、おもしろおかしく楽しい報告を準備してくださっていると思ひます。期待しております。

福田春彦会員…奥村君が発表するのは久しぶりですね。頑張ってください。

尾崎嘉彦会員・・・9/2 に 51 歳になりました。バースデーカードをいただきありがとうございました。また一年皆様のご指導のもと、頑張りますのでよろしくお願ひします。

◆「東海北陸道グループ GTM の報告」奥村敏教会員



9月6日 Zoom によるオンライン方式で GTM が開催されました。幹事の酒向さんから、zoom 方式による GTM が有るので発表をしてくださと言われて、情けない事なのですが私は以前からアナログ人間で電子機器をほとんど活用できていなく、

携帯はスマホですが、機能の数パーセントしか活用しておらず、アプリなど全くと言っていいほど入っていません。ガラケーで十分なのですが、会社から、とゆうより、この手のことに詳しい弟の工場長からスマホを持った方がいいと言われて持たされているようなものです。よってパソコンなど全然ダメですので ZOOM と聞いた一瞬、目の前が真っ暗になり電源オフになりました。そんな私の事を知って知らずか、当日 新東さんの会議室をお借りし、皆が集まり視聴する事になりました。それを聞いた私はモー勇氣 100 倍の電源オンとなりました。当日は一台のパソコンを繋ぎスクリーンに映しての視聴となり、私もスマホを zoom に繋げていましたがそう言えば紙での資料が何も無い事に気が付き、せめて音声でも残そうと思い zoom から退場し録音をしたため、音声録音だけが唯一の資料です。よって今回の発表は感想文的な発表になりますのでご了承ください。がしかし本来はリモートでの会議や集会は密を避けるためのコロナ対策なのに皆が集まりオンラインでの zoom は少し不思議な感じでした。今回のグループトレーニングミーティングは郡上長良川ロータリークラブさんがホストを務められ、講師の先生は特定非営利活動法人 地域再生機構 副理事長の平野彰秀様による 持続可能な社会の構築についてと言ったテーマで講演をして頂きました。

初めにガバナー補佐の藤代様より、開催の趣旨である地域との共生への事についてお話しを頂き、各種来賓等からの挨拶があり、その後平野様の経歴が説明されました。ザクっとですが岐阜市出身、東大法学部で環境関連を選考され、卒業後、大手企業のコンサルタントを務められ、地元の岐阜に戻られてから地域再生機構に入られたそうです。講師紹介の後、講演へと移りました。

テーマである 持続可能な社会 を主とした、地域との共生、穏やかな革命についての講演をして頂きました。平野様は東大法学部を卒業された事もあり、とても幅が広く、凄く奥深い話の内容でしたので私の頭ではとても取りまとめる事が難い部分が多々ありましたが、私なりの解釈で発表させて頂きたいと思ひます。内容といたしましては技術の進化と共に今後、我々は時代の変化にどの様な選択をし、どの様に進んで行けばよいのか、予測されるリスクに対してどうすれば良いのか、と言った様な内容と受け止めました。平野様は、今後 技術進歩とともに我々の生活は豊かになると同時に予測不能な自然災害へのリスクに直面し、又今後の人口減少に対してどの様に向き合っていくのか。また地球温暖化がもたらす 100 年に一度と言われる予測困難な災害や、

遺伝子組み換えによる新型コロナの様な感染症は定期的に襲ってくるとの事です。そして今後デジタル革命によるネット流通、ネット販売、電子マネー、そして今後 AI を積んだ機械や車などの自動操作による雇用の減少は、都市への人口集中と共に人口減少はますます進んで行くとの事でした。

そこで我々は今後どうしたら良いのかですが、持続可能な社会への取り組みが求められるとの事でした。平野様が言われるのは 風の谷プロジェクトだそうです。どの様な事かと言うと、ヤフーの技術者の人が言われるには、このままデジタル革命が進み都市への一極集中が進んでも我々は幸せになれるとの事です。技術の最先端を走っている人が行き着いた結果が、最先端の技術使って自然との共生が人を幸せにすると言う事です。それとは別に京都大学の先生が AI を使ったシミュレーションで、都市集中と地方分散でどちらが出生率が高いかを実験したそうです。都市集中をすると出生率がどんどん下がり、地方分散をした方が、出生率が上がったとの結果出たそうです。これからデジタル革命が進むとともに、我々の生活に AI や機械化がどんどん入り込んで来ることにより、我々の仕事がどんどん奪われる事へ対しても、今までの様な学校教育や社員教育の様な答えが有って、それに対して競争させる様なカリキュラム的な教育ではなく、もっと自由な発想で物事を考えられるような教育の方が今後やって来るデジタル社会や予測困難な時代へ対応できる人材になるとの事でした。よって人口減少、予測困難な時代や我々の真の幸せな生活に対して大事なことは自然や地方との共存共栄が大事になるとの事です。事実、平野様は石徹白に移り住み、豊かな自然や豊富な資源を活用した活動を数多くやられているそうです。例えば、豊富な水を使った水力発電や地元での特産物の開発をしていらっしゃるそうです。自然を活用した発電や農産物生産は地域の発展や温暖化対策にもなるため、とても大事な仕事だそうです。そして、平野様はこんな事も言われていました。イノベーションは、よそ者、若者、バカ者が引き起こすとの事です。これは今までにない発想や考え方が入る事により、化学反応が起きて状況が爆発的に変わるとの事だそうです。

最後に、平野様が私の好きな言葉として言われたのは「人生に置いて最も大事な財産は金銭的な物ではなく、自分の役割の中で回りの人にどれだけいい影響を与えられたかにより、その人の幸福度が決まり幸せになれる」だそうです。

◆幹事報告

◎9月のロータリーレート 1ドル：106円

次例会のご案内 10月6日(火) 12:30

「関メタルアート展 2020 について」

関商工会議所 副会長 山田修平様

“ 委員長 波多野忠仁様

“ 副委員長 山田耕滋様